

子どもたちの安全を願って

子どもたちの安全を守り、安心して暮らせる地域の整備について、様々な要望が寄せられています。速やかに対応するとともに、関係各所を訪問し、最善の対策を協議し、実施できるよう取り組んでいます。

原学区 児童館建設

『原児童館(仮称)』の建設予定地は原小学校の元プールがあった場所で、児童館までの道に用水路があります。その横にある里道を通るのですが、道幅が約90cmしかないため、原小学校PTAの皆さまと地域の方々から子どもたちが落ちないための安全対策のご相談をいただきました。安佐南区役所と協議した結果、用水路への転落を防止するガードパイプを設置することとなり、2019年8月に設置が完了しました。これによって子どもたちが安全に児童館へ行けるようになります。また新たな遊びと学びの場『原児童館(仮称)』は令和2年3月に完成予定となっています。



緑井2丁目の交差点にガードレール

緑井小学校の通学路の交差点に、「信号待ちの子どもたちを守る安全対策がない箇所がある」と緑井小学校PTAの皆さまからご相談いただきました。昨今、全国で自動車が歩道に突入する事故が多発していますので、早急に安佐南区役所維持管理課と協議し、ガードパイプを安全対策として設置しました。



海徳ひろし 日々の活動

選出区：安佐南区 会派：自由民主党・市民クラブ

所属委員会：経済観光環境委員会副委員長

安心社会づくり対策特別委員会副委員長

海徳ひろしの日々の活動はホームページのブログをご覧ください。

ホームページ <http://kaitoku-asaminami.jp/>

海徳ひろし

検索

安佐南区から未来を開く!



2019
Vol.5

広島市議会議員(安佐南区)

かいとく

海徳ひろし

市政
報告

《自由民主党・市民クラブ》

〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2734 FAX:082-244-5210
この海徳ひろし市政報告は、自由民主党・市民クラブの承認を得て発行しています。

ごあいさつ

自由民主党・市民クラブの海徳ひろしです。平成26年8月20日の広島豪雨災害から5年が経過しましたが、目を閉じれば、今でもあの日の惨劇がよみがえってきます。それとともに、進んでいく復興まちづくりで私たちのまちは、確実に災害に強く安全・安心なまちへと変わりつつあることを実感しています。そして、平成から令和へ、新たな時代の始まりを強く感じさせる1年でした。全国各地で自然災害が多発していることからも、災害から学び、備えることが大切な時代になったと、年々強く感じているところです。2020年の東京オリンピックでは、広島にも世界中から多くのお客様が訪れ賑わうことを期待しています。4月に行われた広島市議会議員選挙では、皆さまから多大なご支援いただきましたことに改めてお礼を申し上げますとともに、これからも全身全霊を傾けて皆さまの暮らしに貢献させていただきます。

暮らしに安全・安心を

西原2丁目 不法駐輪



BEFORE

西原にお住まいの方から、不法駐輪のご相談を受けました。通勤・通学のバス利用者による駐輪場整備について安佐南区役所維持管理課と対策を協議しました。



AFTER

駐輪禁止の注意喚起として、放置自転車・迷惑駐輪に対して「警告札」を取り付け、一定期間(7日間)後に撤去しました。(放置規制区域は即時撤去)

中筋4丁目 樹木の剪定



BEFORE

中筋にお住まいの方から、使用している駐車場に隣接する樹木から樹液が垂れ、自動車に付着して困っているとのご相談を受けました。



AFTER

安佐南区役所に所有者の調査を依頼。国有地であることが分かり、管轄である国土交通省中国整備局広島国道事務所に枝の剪定を行っていただきました。

八木4丁目 側溝の蓋掛け



BEFORE

梅林にお住まいの方から、梅林小学校の通学路に沿ってある側溝に、安全対策として蓋掛けのご相談がありました。



AFTER

2019年4月末に側溝の蓋掛けを終え、子どもたちが安全・安心に登下校できる通学路になりました。

(安佐南区役所維持管理課)

(国土交通省中国整備局広島国道事務所)

(安佐南区役所地域整備課)

一般質問

令和元年 第3回広島市議会定例会 9月19日(木)



自由民主党・市民クラブを代表して
一般質問に臨みましたので、ご報告させていただきます。

都市農業振興と生産緑地制度について

質問 都市農業の振興と農地の保全を図るために、生産緑地制度の導入が切り札になると考えます。その際、JA広島市との連携や協力が欠かせないと思いますが、市の見解をお聞かせください。

回答 生産緑地制度の導入は、都市農業の将来において有効な手段の一つであると考えています。農家が都市農業の担い手として事業を安定的に営めるように、これまで以上に農業に関する専門的な知見や個々の農家の事情に精通しているJA広島市と連携して取り組んで参ります。



川内の広島菜

英語教育の取り組みについて

質問 特別研究校の研究成果を全市立中学校へ普及させていく必要があると考えています。本市のALT(※)の配置状況と今後の展開を教えてください。

回答 特別研究校での成果を好事例として、本年度は新たに2校を「英語教育研究校」とし、コミュニケーション能力の育成を重点に進めているところです。ALTに関しては、現在23の中学校で行っている英語授業などを、令和4年度を目標に全市立中学校で行えるように努めていきたいと考えています。

※ALT(=アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)とは英語を母国語とするネイティブスピーカー



特別研究校(大塚中学校)の英語授業

JR可部線下祇園駅の自由通路等の整備について

質問 JR下祇園駅の自由通路等整備について、現在の進捗状況を教えてください。また今回の整備に併せて、トイレの改良など利用者の利便性向上となるようにJRとの協議を行ってください。

回答 現在、JR西日本と本市は、国の補助制度を活用するための計画作成に取り組んでおり、令和3年度に工事着手を目標に進めています。また当初の計画では、トイレは再利用の予定でしたが、この事業の重要性を見直し、トイレのバリアフリー化や多機能トイレの設置などトイレ新設案の再検討も行っています。



JR下祇園駅

平成26年8月豪雨災害からの復興について

平成26年の広島豪雨災害から5年が経過しました。8月20日、私は被災地の追悼献花式に参列しました。犠牲になられた方々へ謹んで哀悼の誠を捧げ、改めて、私たちのまちの復興を願うとともに、これからも復興に全力を尽くすことを誓いました。



八敷公園での広島土砂災害ろうそく供養祭

質問

来年度から継続復興期間へ移行します。整備効果を最大限に発揮するために、引き続き急務となる長束八木線の延伸や、川の内線の高架部の整備について、市の見解をお聞かせください。

回答

「復興まちづくりビジョン」に基づき、来年度以降5年間も継続復興期間として、長束八木線では約1,300mの延伸、川の内線ではJR可部線をまたぐ延長400mの高架部を整備する計画です。引き続き財源を確保できるように、令和2年度の国からの交付金のための働きかけや、今年度までに都市計画事業認可取得などに取り組んでいます。



長束八木線建設現場

質問

復興交流拠点施設の建設に向けた取組み状況を教えてください。広島は2つの復興を語ることができる都市です。戦災からの復興とともに自然災害からの復興を語り伝える場として、中四国を代表する唯一無二の拠点施設としていただきたいと考えていますが、市の意気込みはいかがでしょうか。

回答

復興交流拠点施設は、来年度の本格的な事業着手に向け、建設候補地や施設内容などについて地域の方々と引き続き議論を重ねているところです。財源確保においても国の防災・安全交付金を活用できるように引き続き取り組んで参ります。またご提案いただいた通り、2つの復興という側面から、広島平和記念資料館などに訪れた観光客・修学旅行生にも地域の想いが届く施設運営を目指して、地域と一緒にして取り組んで参ります。



梅林学区復興まちづくり協議会